（公社）兵庫県建築士会　姫路支部　会報

姫路支部だより　3

2021 March　No.63

国宝探訪 XV　姫路城　その十五　～鎮座する転用石～

姫路城には９０点余りの転用石が発見されています。主な石造品は仏教関係の石塔類と、古墳の石棺で、石塔の場合は、多くが五輪塔の地輪と本写真のように宝篋印塔（ほうきょいんとう）の基礎です。鎌倉時代後期以後に増加しますが、この石のように格狭間上部の曲線が水平に並び肩が張ったような形が古い形式です。本来見下ろしの視線の位置で用いられる礎石が、水の三門入口傍にあるこの石は、目線の高さに埋め込まれ転用されています。その姿には、まるで攻め入る敵が左にそびえる目前の天守に目を執られている時、じっと見詰める呪術的な意味合いが感じられます。

（写真・文：西嶋 宣久）

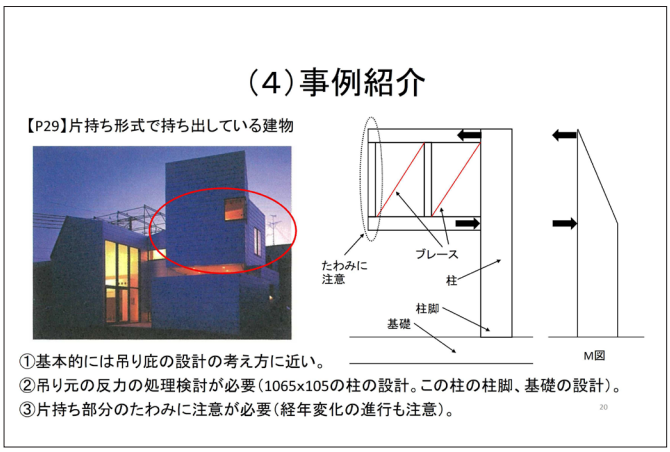
２月の活動報告

2. 1（月）	理事会（姫路建設会館）
【2.13（土）	建築家講演会・見学会（太子町）　延期】
2.18（木）	構造学習会（オンライン）
2.25（木）	建築相談（姫路市役所）

３月の活動予定

3.18（木）	構造学習会（オンライン）
3.25（木）	建築相談（姫路市役所）

活動報告　［第 11 回構造学習会］　２月 18 日（木）



第１１回講義スライドより

２月１８日（木）第１１回構造学習会を開催しました。先月に引き続き新型コロナ感染の緊急事態宣言発令の中、ＺＯＯＭのオンラインにて開催いたしました。

今回は兵庫確認検査機構の構造審査の景山先生に「階段の設計」について例題も解きながら解説していただきました。また木造の意匠性の高い写真のような建物について構造設計の観点から考え方や注意点を説明していただきました。

今回の受講生は１４名でした。３月は今年度最終回ですが、２月に引き続きオンラインでの開催を予定しています。

以上ご報告申し上げます。

（構造学習会　幹事　石原 弘一）